

部局名	産業活力部	所属名	農政課	所属長名	鈴木 孝行	電 話	483-1151 内線3560
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3258	事務事業名称	印旛沼対策事業						短縮コード	経常		臨時	3258
予算区分	会計	01	一般会計	款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	02	農業総務費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等	千葉県栽培漁業振興総合対策事業補助金交付要綱、八千代市印旛沼稚魚放流事業補助金交付要綱						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
昭和40年代に印旛沼の水質環境の悪化が叫ばれる中、千葉県と印旛沼流域7市町村が水質の環境保全と漁業資源の確保を目指して補助金による【印旛沼稚魚放流事業】を始めた。この事業を継続することで、水質環境の改善、漁場の保持が期待できる。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系	5本の柱（章）	05	産業活力都市をめざして				
漁業資源の確保と水質の環境保全は永遠のテーマであることから、この事業は、今後も継続されると考えている。							大項目（節）	01	農業				
							中 項 目	01	農業				
							小項目（施策）	02	農業経営体の育成				
							細 項 目	01	営農・経営支援体制の強化				
						実 施 計 画 の 計 画 事 業							
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費	千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	漁業従事者 印旛沼漁業協同組合						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 印旛沼漁業協同組合に補助金を交付し、新川の平戸橋周辺に鰻や鮎の稚魚の放流を行い、漁業資源の確保等に努めた。						
	※平成19年度に計画していること： 同上						
意図 （何を狙っているのか）	漁業・観光資源の確保						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	漁業従事者の経営の安定と観光資源の確保						
区 分			単位	1 7 年度	1 8 年度		1 9 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	漁協に加入している組合員数（市内）	人	15	11	14	14
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	新川に放流する稚魚の数量	kg	300	150	200	200
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	安定した漁獲量	kg	580	580	262	262
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード		3258	事務事業名称	印旛沼対策事業			所属名	農政課
			単位	１７年度	１８年度		１９年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	100	100	100	100	
		その他	千円	0	0	0	0	
	主な事業費の内訳			組合員負担金 1,909,168 円 県市町村補助金 2,697,000 円 計 4,606,168 円	組合員負担金 1,326,500 円 県市町村補助金 3,375,000 円 計 4,701,500 円	組合員負担金 1,344,675円 県市町村補助金 2,660,000円 計 4,004,675円	補助金 100,000円	
	人件費(B)			千円	475.5	143.7	143.7	
トータルコスト(A)+(B)			千円	575.5	243.7	243.7	535.5	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由					
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		事業の効果は、漁業者のみならず市民生活の場にまで及ぶもので、都市部において必要な施策である。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある							
			☐ 結びつきが弱い・ない							
			☐ 評価対象外事項							
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		漁業・観光資源を確保するためには、現行の事業を継続する必要がある。					
			☒ 達成していない							
			☐ 評価対象外事項							
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		千葉県と流域7市町村による共同事業であるため。					
			☒ 可能性はない							
			☐ 評価対象外事項							
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		県他流域7市町村と漁業協同組合等が連携して取り組む事業の実態は、その目的に適合している。						
		☐ 見直す必要がある								
		☐ 評価対象外事項								
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		事業内容からみて有効性や効率性の向上は難しい。（参考：生態系や水産業に被害を及ぼす特定外来生物による事業への影響の有無は不明、かつ県による当該生物に係る防除実施計画も未策定の状況にある。）					
			☐ 効率性向上の可能性はある							
			☐ 両方可能性がある							
			☒ 可能性がない							
		⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
				☐ 臨時的任用職員等の活用						
				☐ I T化等業務プロセスの見直し						
				☐ 受益者負担の見直し						
				☐ 類似事業との統合・役割見直し						
				☐ 上記以外の方法		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
						2		実施主体 (所管部署)		
		⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
				☐ ない						

コード	3258	事務事業名称	印旛沼対策事業			所属名	農政課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			農業情勢の動向に注視し、適宜事務の見直しを行う。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
	☐ 廃止						
☐ 休止							
☒ 現状のまま継続							
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			現状の経費で成果はでている。 経費を削減すれば成果が低下する。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☒	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
一般に知られていない補助事業であるため、特に意見は出していない。	

所属長コメント	・本事業は、淡水資源、環境資源の確保といった観点から、沼周辺の自治体等と協力のうえ、継続が必要である。 ・妥当な評価である。	
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
	☐ 廃止	
	☐ 休止	
	☒ 現状のまま継続	